

「第5回村岡公民館再整備建設検討委員会」 の開催結果について(お知らせ)

第5回村岡公民館再整備建設検討委員会を開催いたしましたので、結果について皆様にお知らせいたします。

【開催概要】

- 日 時 2018年11月15日(木)
議 題 (1) 中学生によるワークショップの実施結果について
(2) アンケートの中間報告について
(3) 浸水対策について
(4) 新施設整備の基本方針等について

【議事の内容】

1 中学生によるワークショップの実施結果について

- ◆実施日 2018年10月10日(水)
- ◆参加人数 20人(藤ヶ岡中学校:10人 村岡中学校:10人)
- ◆実施内容 村岡地区の良いところや改善すべきところ、また新しい公民館で行う活動やサービスについてのほか、村岡公民館及び村岡地区の将来像について意見を出し合い、話し合ってもらいました。

＜ワークショップにおける主な意見＞

- 落ち着いて勉強のできる場所や雨の日に遊べる場所がないため、自習室など子どもたちの居場所がほしい。
- 歩道のない狭い道路が多い。街灯がなく夜間に暗い道路がある。
朝の声掛け運動やあいさつ、夜のパトロールなど地域で行っている活動により、安全な登下校を行っている。
- 公民館で世代を超えて交流することで、地域に知り合いが増え、より安全で住み心地の良い街となる。

※以上の意見以外にも公民館を情報発信拠点とすることや、自習室で上級生による寺子屋を開く等、斬新で積極的な活動やサービスに関する意見を得ることができました。

2 アンケートの中間結果について

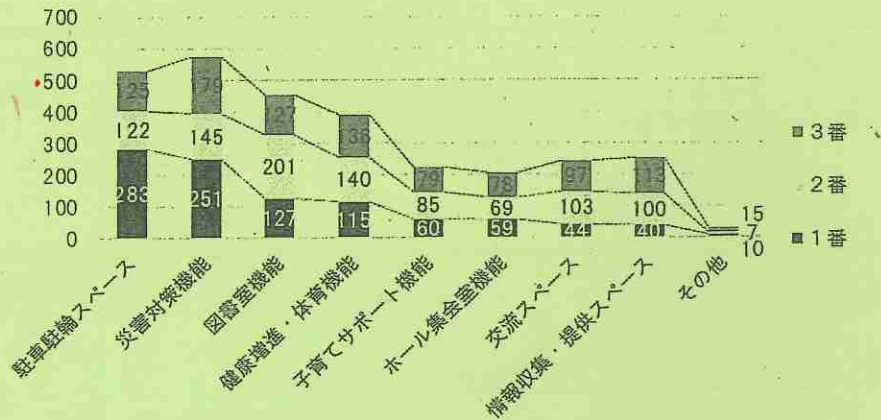
- ◆実施期間 2018年9月10日～25日
- ◆対象者 (1) 村岡地区在住の15歳以上の方を無作為抽出した3,000人
※回収数:1,080枚 回収率:36.0%
(2) 村岡公民館登録団体130団体に対して、1団体5枚配布(650人)
※回収数:296枚 回収率:45.5%
- ◆調査内容・結果 「村岡公民館の再整備にあたり、重要だと思われるものなどについてご意見を伺いました。

<アンケートの中間結果（抜粋）>

【住民向け】

3)重要だと思われるもの

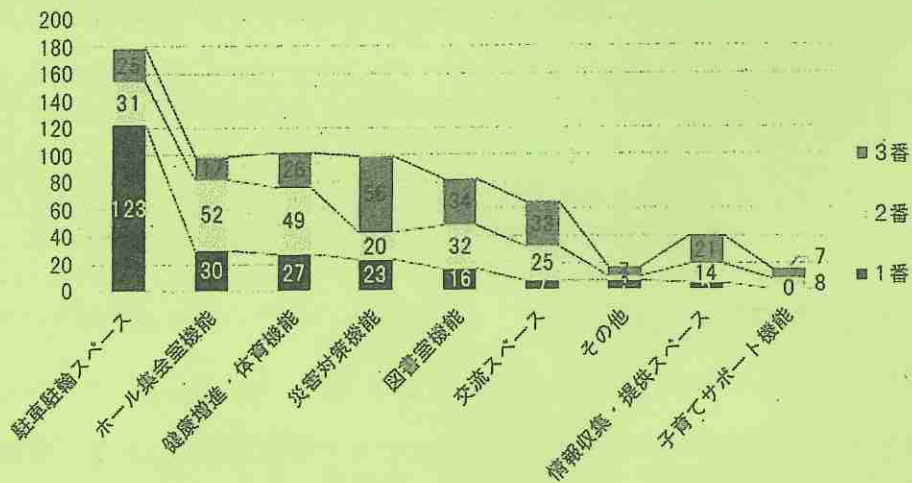
【1番重要だと思われるもの】については、「駐車駐輪スペース」が283人と最も多く、「災害対策機能」、「図書室機能」が次いでいます。【2番目に重要だと思われるもの】は、「図書室機能」が201人と最も多く、「災害対策機能」「健康増進・体育機能」が次いでいます。また、総回答数では「災害対策機能」が最も多いことがわかります。



【サークル向け】

3)重要だと思われるもの

【1番重要だと思われるもの】については、「駐車駐輪スペース」が123人と最も多く、「ホール集会室機能」、「健康増進・体育機能」が次いでいます。【2番目に重要だと思われるもの】は、「ホール集会室機能」が52人と最も多く、「健康増進機能・体育機能」、「駐車駐輪スペース」が次いでいます。また、総回答数についても「駐車駐輪スペース」が最も多いことがわかります。



3 新施設整備の基本方針等について 「村岡公民館等再整備基本構想（案）」について

【主な内容】

○基本理念（案）「みんなが気軽に訪れ絆を育む、安全安心で明るい施設」

○新施設の諸室・機能等（案）

ホール、談話室（3部屋）、学習室、防災備蓄倉庫、子ども室、授乳室、調理室、音楽室、和室、団体活動準備室（防災拠点会議室機能を兼ねる）、体育室、福祉相談室、実習室、市民図書室、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、オープンテラス など

○新施設計画に関する考え方（配置計画等）（案）

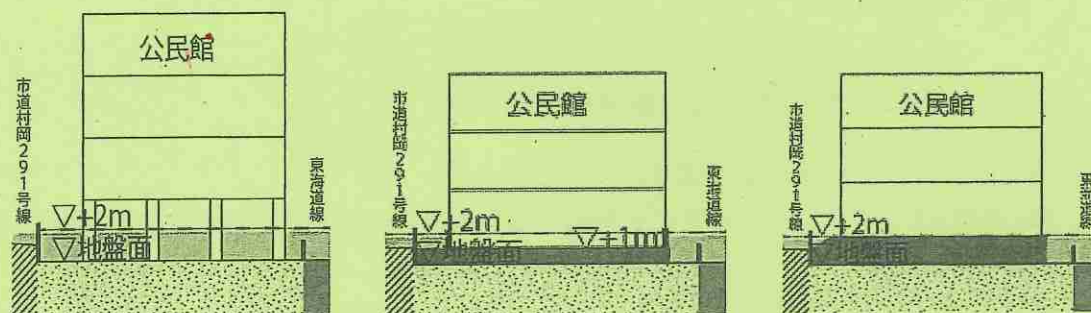
- JRの鉄道敷地から可能な限り離して施工する。
- 北側の住宅に対して圧迫感や日影の影響を与えないよう、可能な限り距離を取って配置する。
- 日常的な利便性の観点、浸水対策の必要性から前面道路と同程度の高さとなるよう計画する。
- 建物の北側に緑地、広場、オープンテラスといった空間を設ける。
- 公民館予定地と北側の市道には、約1mの高低差があり、また跨線橋もあることから公民館へは現在ある敷地内の道路を再整備したうえで、利用する方向で検討を進める。敷地利用計画に関する考え方として、鉄道敷地との間や体育室の下に駐車場を設けることを計画し、効率的な敷地の利用を図る。
- 可変性の高い設計とし、できるだけ長く利用できるつくりとするよう努めるとともに、維持管理費をできるだけ抑えられるように配慮する。
- 太陽光発電や雨水利用、LED照明、高断熱、高遮熱材の採用等を検討する。
- 高齢者や障がい者、妊娠中の女性、乳幼児を連れた方、外国籍の方など、すべての人が安心して利用できる施設となるよう、「多目的トイレ」や「授乳室」、「おむつ替えコーナー」の設置するとともに、壁面や階段などの色やサイン計画などに配慮した計画とする。
- 新駅及び周辺の整備計画があることから、当該事業の支障とならない必要最小限の敷地で再整備を行うため、民間事業者の建設及び運営ノウハウなどを導入する部分はなく、PFI等の手法は採用せずに従来の方式である公設公営の考え方で整備を行う。
- 災害時には防災拠点となるため、地震によって施設が利用できなくなることがないように、十分な耐震性能を有する施設する。また、浸水時にも防災拠点、避難場所（制限あり）として機能できる施設とする。

4 浸水対策について

- ◆浸水の深さ 神奈川県が公表した「最大想定浸水区域図」によると建設予定地の浸水深は、2メートル未満となっています。
- ◆浸水継続時間 柏尾川の破堤後、4時間47分後から10～11時間。
- ◆浸水対策（案） 災害時の拠点となる施設として浸水しない計画とする必要があり、また日常の快適性や利便性に配慮した計画が必要となります。

- 浸水高さへの対処及び日常の利便性の確保を図るため、全面道路と同程度の高さとなる約1mの盛土を行う。
- 浸水が見込まれた時点で事前に本施設に避難することを前提とし、かつ屋外階段により外部から避難できる。
- 止水板を設置することで可能な限り浸水を防ぎ、公民館としての機能を維持する。
- 水が引くまで安全に滞在することができるとともに、防災拠点機能を維持するため、2階以上に避難所及び防災拠点会議室等を整備する。

【浸水対策のイメージ (案)】



<ピロティ案>

< 1m盛土+止水板案 >

< 2m盛土案 >

※ 他にも様々な検討を行っています。

《「村岡公民館等再整備基本構想 (案)」に対する主なご意見》

- 地区の歴史を紹介するような場所があるとよい。
- 飲食スペースはサークル活動利用者が活動後に使用する頻度が高いことが想定される。飲食が可能になれば、子育て世代が子どもに少し食べさせてあげたい時や児童が軽食を取れば、わざわざ家に帰る必要もなくなるので利用しやすくなる。食べ物の自動販売機を設置してほしい。
- 音楽室の防音設備は老朽化により効果が薄くなることが考えられる。音漏れに配慮して諸室の配置計画を行ってほしい。
- 利用者以外の無断駐車への対策として、時間制の有料駐車場としてもよいのではないか。
- 基本方針の中でも特に「むすぶ」が重要である。その他の機能は公民館であれば自然に機能すると思うので、地域住民のつながりをむすぶ場としての重要性を強調してほしい。
- ユニバーサルデザインの考えから車寄せが必要だと思う。
- バスの運行を検討してほしい。
- 各階に多目的トイレを設置してほしい。オストメイト対応のトイレも必要である。
- 水害避難所、福祉避難所として受入れ可能人数等を具体的に想定しておく必要がある。

【問い合わせ先】 藤沢市役所 村岡公民館 電話 23-0634

※村岡公民館建設検討委員会は、公開で開催しています。

※傍聴をご希望の方は、事前申込みとなっております。